

活動名称 (40字以内)	持続可能なライフスタイルへの変遷を実現するための 科学的アプローチに基づくフィールド実践体験			
団体名等	株式会社 百			
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 先着順	
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input type="checkbox"/> 書類審査	
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動		<input type="checkbox"/> 面接	
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動	募集人数	6	人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動			
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動				
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う			
大学院学生	<input type="checkbox"/> 含む <input checked="" type="checkbox"/> 含まない			
参加資格等	特になし、学部学生			
活動期間	2023年9月15日-17日もしくは9月16日-18日	主な活動予定場所	宮城県川崎町青根地区 (蔵王山麓)	
	2泊3日			
目的	中山間地域における暮らしや環境問題の現状を知り、未来の地域における持続可能なライフスタイルについて探求すること			
具体的な内容 (800字程度)	<p>株式会社百は宮城県川崎町の豊かな自然環境で育まれた里山文化と現代の最先端科学技術を組み合わせ、生活に最低限必要な食とエネルギー(ベースックインフラ)の自給自足を目指し、農業や体験宿泊施設の「エコモデーション百のやど」の運営をおこなっている。</p> <p>本プログラムでは、株式会社百が提供する環境体験フィールド・プログラムを活用することで、中山間地域における未来型の持続可能なライフスタイルについて考える。具体的には、農業、林業、地域資源を活用したエネルギー利用の体験プログラムを行う。農業においては、収穫体験、青果物の流通の知見、林業においては、山道づくり・伐倒・薪割り体験、エネルギー利用においては、焚火、生ごみから作成したメタンガス利用、一次電池作製、太陽電池・小水力発電・バイオマス発電・温泉熱利用体験を行う。その際、地域住民、大学教員、東北大学の学生とも交流する機会を持ち、未来の暮らしのあり方について議論を深める。本プログラムにおける目標としては、在来知と科学知の融合により、生態系保全型でありつつ、不便すぎない持続可能なライフスタイルの探索を行うことである。特に、自給的な農業・林業を行いつつ、現代的な職業を持ちながら暮らすことが可能かについてディスカッションを行う。</p> <p>時期としては9月15~17、16~18日のどちらかで2泊3日にて調整する(参加者と要相談)</p> <p>2泊3日の滞在中は、以下の内容を体験してもらう。</p> <p>①里山資源を使った体験 薪割り、畑作業などの里山暮らし体験 地産地消の食を作る、食べる(畑で収穫～みんなでご飯を作り食べる)</p> <p>②里山環境と人の営みを五感で理解する 蔵王お釜 探訪 青根温泉・巖々温泉 見学 北原第二水力発電所、白炭窯の見学、レクチャー 川崎町の豊かな山林一萌芽更新林の維持管理について視察</p> <p>③先端技術と自然の融合を考える エコモデーション百にて宿泊を通じたエネルギーと食の地産地消の体験 木材を通じたデバイス開発の様子を見学@里山エンジニアリング 例)木材や微生物から電池を創る 青根温泉での排湯を利用したカカオ栽培を見学</p> <p>なお、宿泊期間中には青根温泉じゃっぼの湯の入浴、地産地消の朝夕のご飯、1日を振り返り未来の里山を考えるディスカッションの時間を設ける。 最終日はプログラムを振り返り、「伝統的な里山文化と先端科学技術が織り成す未来の持続可能なライフスタイル」について意見をまとめる。</p>			
備考	<p>・事前オリエンテーションの出席必須 詳細は後日連絡。</p> <p>・本プロジェクトは株式会社 百・取締役 中安祐太氏(東北大学助教)および東北大・准教授 鈴木杏奈氏との共同研究に資する体験プログラムであり、ウェルビーイングおよびサステナビリティの研究に展開することを目指している。</p> <p>・株式会社 百のインターン生である東大大学院農学生命科学研究科の岩永淳志さんが本プログラムに帯同予定。</p>			
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載		
	交通費 25,000 円 宿泊費 16500/泊 円 活動費 6,000 円 計 64,000 円	宿泊先:Ecommodation 百のやど https://momonoyado.snack.chillnn.com/ 交通費:東京～(新幹線)～仙台～(路線バス)～川崎町 活動費:3000/泊		
		奨励金額	活動後に算出	
ウェブサイト等	https://momo100sho.com/ https://www.instagram.com/momo100sho/			